

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成21年9月28日

【事業年度】 第45期(自平成20年4月1日至平成21年3月31日)

【会社名】 東邦グローバルアソシエーツ株式会社

【英訳名】 TOHO GLOBAL ASSOCIATES Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 黒田 高史

【本店の所在の場所】 東京都港区虎ノ門一丁目16番16号
虎ノ門1丁目MGビルディング

【電話番号】 03(5511)1700 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部長 山田 康治

【最寄りの連絡場所】 東京都港区虎ノ門一丁目16番16号
虎ノ門1丁目MGビルディング

【電話番号】 03(5511)1700 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部長 山田 康治

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年6月29日に提出いたしました第45期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）の有価証券報告書において、記載事項の一部に訂正を要する箇所がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

- 第一部 企業情報
- 第2 事業の状況
- 4 事業等のリスク

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

第一部（企業情報）

第2（事業の状況）

4（事業等のリスク）

（訂正前）

（7）継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象または前提があること

（第5 経理の状況 1 連結財務諸表の「継続企業の前提に関する注記」をご参照ください。）

（訂正後）

（7）継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象または前提があること

当社グループは、前連結会計年度まで継続的に営業損失を計上しており、当連結会計年度においても1,467,218千円の営業損失を計上するとともに営業キャッシュ・フローについても継続してマイナスの状況が続いております。また、資金面に関しては、新株予約権の行使による調達に依存しており、当社株価の下落等の要因により、新たな資金調達が困難な状況となる可能性があります。